

## 地方独立行政法人法（抄）

（中期目標）

第25条 設立団体の長は、3年以上5年以下の期間において地方独立行政法人が達成すべき業務運営に関する目標（以下「中期目標」という。）を定め、これを当該地方独立行政法人に指示するとともに、公表しなければならない。これを変更したときも、同様とする。

2 中期目標においては、次に掲げる事項について定めるものとする。

- （1） 中期目標の期間（前項の期間の範囲内で設立団体の長が定める期間をいう。以下同じ。）
- （2） 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
- （3） 業務運営の改善及び効率化に関する事項
- （4） 財務内容の改善に関する事項
- （5） その他業務運営に関する重要事項

3 設立団体の長は、中期目標を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、評価委員会の意見を聴くとともに、議会の議決を経なければならない。

（中期計画）

第26条 地方独立行政法人は、前条第1項の指示を受けたときは、中期目標に基づき、設立団体の規則で定めるところにより、当該中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、設立団体の長の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

2 中期計画においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- （1） 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
- （2） 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
- （3） 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
- （4） 短期借入金の限度額
- （5） 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画
- （6） 剰余金の使途
- （7） その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

3 設立団体の長は、第1項の認可をしようとするときは、あらかじめ、評価委員会の意見を聴かなければならない。

4 設立団体の長は、第1項の認可をした中期計画が前条第2項第2号から第5号までに掲げる事項の適正かつ確実な実施上不適当となったと認めるときは、その中期計画を変更すべきことを命ずることができる。

5 地方独立行政法人は、第1項の認可を受けたときは、遅滞なく、その中期計画を公表しなければならない。

(中期目標に係る業務の実績に関する評価)

第30条 地方独立行政法人は、設立団体の規則で定めるところにより、中期目標の期間における業務の実績について、評価委員会の評価を受けなければならない。

2 前項の評価は、当該中期目標の期間における中期目標の達成状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該中期目標の期間における業務の実績の全体について総合的な評定をして、行わなければならない。

3 第28条第3項から第5項までの規定は、第1項の評価について準用する。

(中期目標の期間の終了時の検討)

第31条 設立団体の長は、地方独立行政法人の中期目標の期間の終了時において、当該地方独立行政法人の業務を継続させる必要性、組織の在り方その他その組織及び業務の全般にわたる検討を行い、その結果に基づき、所要の措置を講ずるものとする。

2 設立団体の長は、前項の規定による検討を行うに当たっては、評価委員会の意見を聴かななければならない。

## ○地方独立行政法人山口県産業技術センターの業務運営並びに財務及び会計に関する規則

第5条 法第26条第2項第7号の規則で定める業務運営に関する事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
- (2) 業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためとるべき措置
- (3) 法第40条第4項の承認を受けた金額の使途
- (4) その他法人の業務運営に関し必要な事項